

10月定例記者会見会議録

平成30年10月1日(月)午後1時～
市役所2階 第1委員会室

1. 市長からの発表

昨夜は、台風24号が上陸し、各地で人的被害や建物被害が出ました。伊賀市においても、避難情報を発令し、58世帯83の方が小学校等へ避難しました。また、人的被害として、市内の男性が屋根から転落し怪我をしました。1日も早い怪我の回復をお祈りするとともに、被災された全ての方に心からお見舞い申し上げ、早急な復旧を願います。

さて、ようやく季節は爽やかな秋へと移り変わってまいりました。10月は、芸術の秋、祭りの季節です。いよいよ、今月19・20・21日は、上野天神祭のダンジリ行事が始まります。

一昨年のユネスコ無形文化遺産登録の効果もあり、当日は地元の方はもちろん、多くの観光客の方もお越しになると思います。

祭りの期間中は、だんじり体験乗車や祭礼用具の展示など、各町ごとに様々な行事が行われます。

また、宵山では、だんじりに提灯が灯り、幻想的な雰囲気演出します。21日の神幸祭では神輿行列を先頭に、百数十体の鬼行列、九基のだんじりが城下町を巡行する絢爛豪華な様子をご覧ください。

昨年は台風のため、あいにく途中で中止となりましたが、今年こそ晴天になることを願い、3日間を通じてたくさんの観光客の皆さんに訪れていただけるようPRしていきたいと思えます。

次に、伊賀市の観光大使である女子サッカークラブ伊賀FCくノーが、2018プレナスなでしこリーグ2部で優勝に向け邁進中です。今年は、カップ戦で優勝という輝かしい成績を収めました。現在、リーグ戦で首位を独走しており、優勝目前までできています。状況によっては、10月7日(日)の第15節スフィード世田谷FC戦で優勝が決まる可能性もあります。この日は、市民感謝DAYとして、伊賀市在住の方、または通勤・通学の方が無料で観戦ができるため、多くの皆さんで応援に行っていたらと思います。

次に、建設中の新庁舎の進捗状況ですが、10月になり、いよいよ完成に近づいてきました。工事の進捗率も9月末日現在約95パーセントで推移しており、11月の完成に向け工事が進められています。

12月22日には竣工式開催の予定です。防災拠点となる伊賀市らしい庁舎を市民の皆さんにお披露目したいと思います。

また、庁舎5階北側へ設置の外壁銘板(めいばん)に掲げる「伊賀市」の文字には、芭蕉さんが書いた字を採用しました。伊賀市庁舎サインに芭蕉直筆の看板を掲げることで芭蕉生誕の地を広くアピールしていきたいと思います。

なお、庁舎完成後は、備品の搬入や引越し作業を経て、1月4日の開庁に向け、関連する業務を進めていきます。

そして、10月13・14日の両日、公益財団法人三重県人権教育研究協議会と伊賀・名張大会実行委員会は、52回目となる「三重県人権・同和教育研究大会」を伊賀市・名張市で開催します。

1日目の10月13日、ゆめドームうえのを会場に開催します全体会では、市内で活動している高校生や青年が、「過去から未来へ思いを紡ぐ～私たちから後に続くすべての仲間へ～」をテーマに、地域の先輩から聴き取った思いや内容をもとに、部落差別解消法の施行を起点として、未来の仲間へ思いを繋いでいくことを劇で表現します。

ご参加いただく皆さんと思いを共有し、さらに、各分科会での研究討議を通じ、全ての人自分らしく、生きがいをもって暮らすことのできる人権のまち・学校づくりへの一歩となることを期待しています。

本日の私からの発表は3つあります。

まず、資料No.1の「平成30年度(第72回)芭蕉祭について」です。

毎年開催している芭蕉祭を、今年も10月12日に行います。

芭蕉祭の式典に先立ち、午前8時30分から愛染院故郷塚で墓前式典を行い、引き続き上野市駅前の芭蕉翁銅像と、市役所本庁舎前の芭蕉翁文学碑「自然(じねん)」前で、献花等を行います。

その後、午前9時25分から俳聖殿前で芭蕉祭式典を執り行います。式典では、今年度の文部科学大臣賞授賞作品や献詠俳句特選者への賞状授与を行います。

また、芭蕉翁記念館では、芭蕉祭に合わせて特別展示「日本の四季と芭蕉 秋」の開催、他にも9月29日から芭蕉祭当日の12日まで、市内の小学生から募集した芭蕉祭ポスター原画の入選作品を館内に展示しています。

さらに、今年度は伊賀鉄道との協力事業も予定しています。10月1日から1ヶ月間、俳句列車と題して、伊賀鉄道のピンク色の車両に芭蕉祭ポスター原画の入選作品をプリントし掲示します。俳句列車は、13日以降には芭蕉祭献詠俳句児童生徒の部の特入選句も掲示します。

この他にも、例年の芭蕉祭当日には「柘植の里バスツアー」を企画していましたが、今年は関西本線木津亀山間活性化同盟会が毎年実施している沿線ウォーキングとコラボし、芭蕉月間に合わせて10月13日に「芭蕉さんのふるさとを訪ねて」と題してウォーキングを開催します。JR柘植駅を基点とし、芭蕉

公園などを巡る約 7.5km のコースです。

芭蕉祭の様々な取り組みを通して、伊賀で暮らす私たちが世界に誇る芭蕉さんを偲ぶ姿を広く発信したいと思っています。

つづいて、資料No.2の、「第 14 回伊賀市民美術展覧会 市展いが」についてです。

造形芸術への創作意欲を高め、市民文化の向上に寄与するため、今年度も伊賀市民美術展覧会を開催します。

今年度も、昨年と同様、伊賀市文化会館を会場とし、公益財団法人伊賀市文化都市協会との共催で行います。

作品募集要項を、本日 10 月 1 日から、本庁舎玄関受付、芭蕉翁記念館内文化交流課、各支所振興課、各公民館などで配布を開始しています。

作品の搬入は平成 31 年 3 月 5 日です。たくさんの方の出品をお待ちしております。

つづいて、資料No.3の、「平成 30 年度伊賀市総合防災訓練」の開催についてです。

今年度から 11 月の第 1 の日曜日を「伊賀市防災訓練の日」として毎年行いたいと考えています。

伊賀市地域防災計画に記載している基礎訓練として、避難訓練、救出・救護訓練を実施し、参加団体、住民自ら考え、参加することで大規模災害に備え、防災意識を高め、災害に対する行動力を養うものとします。

今年度は 11 月 4 日（日）に大山田小学校のグラウンドと体育館で午前 8 時から開催することになりました。

午前 8 時に山田地域内で、直下型地震、震度 6 強を観測と想定とします。訓練は、「救出救護」、「被災者支援」、「救援物資輸送」、「展示啓発、体験」を行います。

まず、「救出救護」では、車両による多重事故、倒壊家屋からの救出、土砂災害からの救出。「被災者支援」では、体育館で、避難所運営で避難者の受付。「救援物資輸送」では、しらさぎ運動公園での荷捌き、避難所への搬送を行います。

また、「展示啓発、体験」は、駐車場および体育館で行います。

そして、訓練終了後には、防災訓練の検証を行い、防災対策の課題等を明らかにし、改善をしていきたいと思えます。

私からの発表は以上です。

2. 10 月の主な行事予定

- (1) 2018 年 10 月 「じんけん」パネル展・・・(資料No.4)
日 時 10 月 1 日（月）～30 日（火）

午前8時30分～午後5時（平日のみ）
※10月9日（火）・16日（火）は午後7時30分まで延長
場 所 寺田教育集会所 第1学習室
内 容 「知っていますか？子どもの権利条約」
主催者 人権生活環境部 寺田市民館

(2) 2018年10月 いがまち人権センターパネル展・・・(資料No.5)

日 時 10月2日（火）～10月25日（木）
午前9時～午後5時（平日のみ）
※10月11日（木）・18日（木）は午後7時30分まで延長
場 所 いがまち人権センターホール（柘植町8898番地）
内 容 「差別につながる身元調査はしない・させない・許さない」
主催者 人権生活環境部 いがまち人権センター

(3) 第52回三重県人権・同和教育研究大会の開催について・・・(資料No.6)

【全体会】

日 時 10月13日（土）午後1時30分
場 所 三重県立ゆめドームうえの
内 容 開会行事、基調提案、地元報告「過去から未来へ思いを紡ぐ～
私たちから後に続くすべての仲間へ～」

【分科会・特別分科会】

日 時 10月14日（日）午前10時
場 所 伊賀市・名張市の公共施設等（詳細：開催要項）
内 容 県内各地から44本の実践レポートをもとに研究討議

主催者 第58回三重県人権・同和教育研究大会 伊賀・名張大会実行委員会（担当：教育委員会 生涯学習課）

(4) 子育て広場「にんにんパーク」イベント開催・・・(資料No.7)

日 時 10月14日（日）・28日（日）・11月11日（日）
午前10時～午前11時30分
場 所 上野南公園「にんにんパーク」内 伊賀市ゆめが丘七丁目
13番地
内 容 10月14日（日）「牛乳パックでハロウィンバッグを作ろう」
10月28日（日）「にんにんハロウィン」
11月11日（日）「葉っぱでスタンプ」

主催者 健康福祉部 こども未来課

(5)「第2回忍者トレイルランニングレース」開催・・・(資料No.8)

日 時 11月3日(土) 午前 7時 ロングの部スタート
午前 10時 ファミリーの部スタート
午前 11時 ショートの部スタート
午後 6時 後夜祭

場 所 さるびの温泉(スタート・ゴール)

内 容 日本遺産の構成文化財となっている霊山をはじめ、西教山(さいきょうさん)や奥余野公園などをコースとしています。
ロングコース(48km)、ショートコース(17km)、ファミリーコース(3km)

主催者 忍者トレイルランニングレース実行委員会
(担当:産業振興部 観光戦略課)

3. その他

(1) 主な質疑応答

(芭蕉祭の行事内容について)

記 者: 芭蕉祭のバルーンリリースは、ゴム風船だと思いますが、如何ですか。海洋生物がプラスチックの被害を受け、世界的な問題になっている中で、ゴム風船を空へ飛ばすというのは暴挙に近いのではないかと。紙風船への変更を検討されてみては。

担当課: 環境に配慮した風船を使用する予定です。

記 者: 自然に分解するということですか。

担当課: はい。環境に配慮した、日本バルーン協会のガイドラインを満たす内容のものを使用します。すぐに溶けてしまうというような物ではありません。

記 者: 基準を満たしており、将来的には分解されるため、具体的な材質等は知らないが、使用するということですね。わかりました。要するに、自然を愛する芭蕉さんを顕彰する催しで、ゴム風船を飛ばすということ自体があまり見た目によくないので、説明した方が良いと思いました。

(憲法改正について)

記 者: 自民党の総裁選(9/20)以来、初めての定例記者会見になると思うので、同じく選挙で選ばれる立場の市長にお尋ねします。

敗れた石破代議士も根幹は憲法9条を変えようということだと思えますが、ただそれは、緊急を要することではないという風潮だったはずです。そこで、明確に変えたいとおっしゃっている安部首相が選ばれたことの感想と、三重県内の自民党員票では石破代議士の方が多く、ここを地盤とされる川崎代議士も石破代議士に入れたと明言されたと言われておりますが、何かご感想があれば。

市長：憲法改正について、新聞社がアンケートで、「多くの方が変えなくてもいいのではないか。」という数字が出ていたのではないかと思います。そうした国民の皆さんの意見をしっかり汲み取っていくことがまず大事ではないかと思います。

私は、憲法をこの時代に合ったものにするには、なんら異議はありませんが、何を盛り込み、何に順位をつけていくのかとしっかり皆で考えていく必要があると思います。そして、昨日の沖縄県知事選でも、随分と国政と地域の思いの乖離が目立ちました。国民のため、市民のための政治ですから、そうした事をしっかりと汲み取っていくことが何よりも大事ではないのかと思います。

(市議会議員とのやり取りについて)

記者：先日、議会最終日に否決された補正4号についてですが、前日に議員と市民センターでやりとりをされた音声を拝聴しました。

第三者の立場にいる人間からみても脅迫ととられかねないことをおっしゃっています。否決直後の記者会見では、そのような意図は全くないとおっしゃっていましたが、そう受け取られても仕方がない、誤解を招く発言をしてしまったことで、議員に謝罪するなどのお考えはありますか。

市長：そのような意図は全くありません。これは通常の議員に対して話をさせていただく中の話だと思います。どう受け取られるかは、個人の話ですが、私にはそのような意図は全くございません。そう受け取られるということは、私にとって些か納得のいかないことでもありますので、それに対する対応というのはございません。あれで済みです。

記者：(脅迫する)意図はありませんでしたか。

市長：ありません。ただ、お受け取りになる方のことですから、それは様々な立場によって変わってくるのではないのでしょうか。それで、彼は何か実際にどのようなことをおっしゃっているのですかね。私にはよくわからないですけどね。

記者：そうしたら、読者に聞いてみまじょうか。全部テープおこしをして。

市 長：そうですか。ひとつ私がいかがいらないのは、どうしてその音源があるのかがいらないですね。

記 者：持っている人は持っています。

市 長：構いませんが、「録音取りますよ」と言って取るなら、それは自分の手控えでいいです。ですが、それを第三者に同意なく渡したり聞かせることはどうなのかと。普通は、取る時に「取らせていただきますね」、「どうぞ」という話ですから。

「取りますよ」と言われても、盗み取りされても、中身は一緒ですから変わりません。ただ、その辺のところのそれはどういうことだったのかということは私にはいらない部分があります。

記 者：わかりました。読者に聞いてみましょう。

市 長：はい。

(国会議員のLGBTに関する発言について)

記 者：伊賀市が力を入れている性的少数者LGBTに関する話ですが、以前、国会議員の論文を新潮45が掲載したことで、騒ぎとなり、休刊に追い込まれる騒動がございました。それについて、性的少数者、多様性のことで何か感想はありますか。

市 長：老舗の出版社ともあろうものが、何故そのようになることの判断ができなかったのか、これまで抱いていた出版社に対する信頼感が揺らいでしまった気がします。